

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	出入管理情報システム導入効果検討業務				
契 約 概 要	業 務 内 容	規 格・形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	出入管理情報システム導入効果検討業務				
	計画・準備	計画準備	式	1	
		協議・報告	回	4	事前協議 1 回、中間報告 2 回、最終報告 1 回
	現状及び課題の把握	現地調査	式	1	広島港出島地区
		埠頭保安管理者へのヒアリング	式	1	広島県広島港湾振興事務所
		課題の整理	式	1	広島港出島地区
	システム導入の検討	システム構成及び機器仕様の検討	式	1	広島港出島地区
		リーダー等のシステム設置の検討	式	1	広島港出島地区
	システム導入による効果の検討等	出入り管理の確実性・効率性等の効果の整理	式	1	広島港出島地区
		システム導入後の運用面での課題の検討	式	1	広島港出島地区
		モニタリング計画素案の検討	式	1	広島港出島地区
	資料作成	機器設置設計図書等の基礎資料の作成	式	1	広島港出島地区
		埠頭保安管理者への提供資料の作成	式	1	
	成果物	業務完成図書作成	式	1	
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所長 赤城 尚宏 国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所 広島市南区宇品海岸3丁目10番28号				
契 約 年 月 日	令和7年8月7日				
契 約 業 者 名	公益社団法人日本港湾協会				
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区赤坂三丁目3番5号住友生命山王ビル				
契 約 金 額	17,160,000円(税込)				
予 定 価 格	17,160,000円(税込)				
随意契約によることとした理由	本業務は、出入管理情報システム未導入のコンテナターミナルにおける導入効果の把握のため、広島港出島地区のターミナルをケーススタディとして、物流効率性も勘案しつつ三点確認を確実に円滑に実施することを目的とした出入管理情報システムの導入効果について、検証するものである。 今回、簡易公募型プロポーザル方式(選定段階省略型)により公示を行ったところ、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。広島港湾・空港整備事務所建設コンサルタント等選定委員会において、提出された参加表明書について資格要件及び専門技術力等の評価、並びに、技術提案書を総合的に評価した結果、公益社団法人日本港湾協会を本業務の契約相手方として特定したものである。 以上により、会計法第29条の3第4項に基づき、同者と随意契約を行うものである。				
業 種 区 分	建設コンサルタント等業務				
履 行 期 間 (自)	令和7年8月7日				
履 行 期 間 (至)	令和8年1月30日				
備 考					